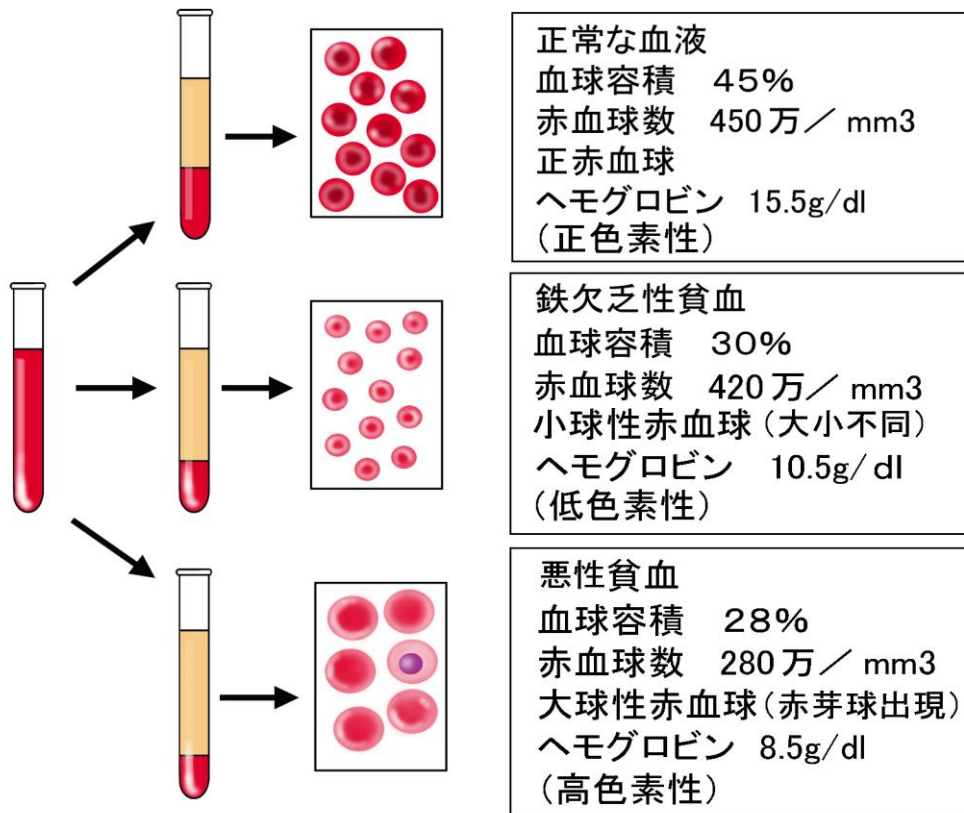


貧血と赤血球



貧血の原因として以下の原因がある。

1. 造血機能の低下

再生不良性貧血、白血病、骨髄腫、薬剤の影響、造血に必要な各因子の不足による貧血。

2. 赤血球数の低下

貧血は一般的に赤血球数の減少として見られることが多い。赤血球の分化過程で細胞質の分化は正常でも、核の分化が遅れると巨大な赤血球が生成される(巨赤芽球性貧血)。

ビタミンB12、内因子、葉酸などの低下はDNAの分化成熟を遅らせるが、細胞質のヘモグロビンの合成は進行するので1個の赤血球中ヘモグロビン量は正常かあるいは高ヘモグロビン量(高色素性貧血)となる。

3. ヘモグロビン量低下

赤血球数が正常値に近くてもヘモグロビン量が少ない。鉄欠乏性貧血に見られ、造血に必要な鉄不足が原因で起きる。赤血球数は減少するかあるいは正常に近い場合もある。1個ごとの赤血球中のヘモグロビン量が減少する(低色素性貧血)。

4. 赤血球の破壊

正常に赤血球が生成されても赤血球膜抗原に対する自己抗体により、破壊され溶血してしまう。この場合、間接ビリルビンが増加する。